

# 男山地域まちづくり連携協定



#外国語 #異文化 #多文化共生

## 目的

グローバル化の進展に伴い外国人住民の数が増加している中で、日本人住民と外国人住民が互いの言語と文化を理解しながら共生できることを目標に活動している



## 活動の概要

- 主な連携先  
京都府八幡市／独立行政法人都市再生機構
- 活動地域  
京都府八幡市
- 活動期間  
2021年～継続中
- 活動資金  
受託研究費

## 連携にいたる経緯

八幡市との協定により、環境都市工学部の江川直樹名誉教授と大影佳史教授が「住みたい、住み続けたい」街作りで多くの成果を上げておられました。そこで私のゼミ活動を通じて、言語・文化領域でも貢献させていただきたく思い、連携に参加させていただきました。



## 活動内容

外国人住民の持つ多様な言語文化は貴重な資源であり、八幡市民にとってはグローバル世界の一端に触れる機会にもなります。そこで、ゼミ生と共に彼らの言語や文化に触れるワークショップを企画しました。第一弾では外国人住民の中で最多を占めるベトナム人を対象とし、市民にベトナムの言語や文化に関心を持ってもらうことを目的とする「Xin chào八幡」を実施しました。

イベントでは、ベトナムについて簡単な歴史を踏まえながら紹介したのち、八幡市在住のベトナム人の協力を得ながらベトナム語の紹介をしました。ベトナム語に馴染んでもらうために、来場者全員にゲームに参加してもらいました。予想を上回る白熱した展開となり、皆様には楽しみながらベトナム語に馴染んでいただけたようです。ベトナム人参加者のコメントも交えながら、料理や生活様式などの紹介も行いました。

さらに、幅広くベトナムの言語と文化に関心を持ってもらうために、市民向けにリーフレットを作成し、市役所の協力のもと市内の各所で配布してもらいました。

## 活動の成果

- ベトナムの言語・文化を紹介する「Xin chào八幡」の実施
- ベトナムの言語・文化を紹介するリーフレットを作成し市民に配布

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- 英語を含めて、多様な言語・文化に楽しみながら触れるイベント
- 市民が外国の言語・文化に興味を持ち、自発的に活動するためのサポート
- 複言語主義に関心がある自治体や団体などとの連携

外国語学部 教授 高橋 秀彰 Takahashi Hideaki



専門は社会言語学、言語政策論。移民を対象とする言語教育、グローバル化における機械翻訳の活用、国家・地域における言語政策などに関心を持っている。



## 連携先からの一言

本市の外国人住民が増加する中、高橋ゼミとの連携により、外国人住民との相互理解を深めるための第一歩となる取組を実現することができました。引き続き、共生社会の実現に向け、ご協力をお願いいたします。  
(八幡市役所)